

長崎市立城山小学校
学校だより



令和8年9月1日 No.7

長崎市立城山小学校
校長 中尾 善蔵



笑顔・実りいっぱいの2学期に！

残暑の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと喜び申し上げます。今学期も本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

本日、城山小の子供たちが夏休みの課題や作品などを抱えて学校に戻ってきました。欠席をした児童も数名いましたが、心配していた水の事故や交通事故、不審者事案等に巻き込まれることもなく、子供たちが明るく元気に登校できたことを何より嬉しく思います。

子供たちが安全で楽しく、思い出に残る夏休みを過ごすことができたのも、保護者の皆様のご配慮や地域の皆様の見守りのおかげと感謝しております。

さて、2学期始業式での校長講話では、今学期を充実したものにするために、この学期を「笑顔・実りいっぱいの2学期」を合言葉にしていこうという話をしました。

「実りの秋」と言われるように、2学期は作物がおいしく実り、収穫できる季節です。みんなが笑顔で楽しく過ごせるように、そして、自分の成長という実りをたくさん得られるように、みんなに大切にしてほしい3つのこと（「気づき・考え・実行（行動）する」）について話をしました。

まず、みんなのまわりには、たくさんの「気づき」が隠れている。たくさんの「気づき」は、まわりの人を笑顔にするはじめの一歩であること。

次に、「気づく」ことはとても大切ですが、「気づき」をどう活かすか考えることで、みんなの行動はもっともっと素晴らしいものになること。

最後に、小さな行動でも、みんなの勇氣ある一歩が、学校を、そしてみんなの周りを、温かい気持ちでいっぱいにしてくれますと伝えました。

気づき、考え、実行することで、友達や先生、家族、みんなが笑顔になり、自分自身も、成長というたくさんの実りを得ることができると伝えました。

2学期は一年の中でも一番長い期間ですが、みんなで力を合わせ、たくさんの「笑顔」と「実り」があふれる、素晴らしい城山小学校になってほしいと願います。

2学期も、どうぞよろしくお願いします。

なつやすみのおもいでと にがっきに がんばりたいこと

1年 ●● ●●● さん

わたしの なつやすみのおもいででは、かぞくと りょうこうに いったことです。りょうこうでは、いのちのたびはくぶつかに いきました。いのちのたびはくぶつcanでは、いろいろな かせきがあり、そのなかでも、とてもおおきな なまけもののかせきがあって、びっくりしました。とってもたのしかったです。

つぎに、にがっきに がんばりたいことです。にがっきに がんばりたいことは ふたつあります。

ひとつめは、さんすうのおべんきょうです。いちがっきにがくしゅうした ひきざんのもっとむずかしいけいさんを がんばって、てすで ひゃくてんをとりたいです。

ふたつめは、おそうじです。いちがっきは、つばめきょうしつから しょくいんしつまえの ろうかを、そうきんで ふくことをがんばりました。にがっきは、すみずみまで ぴかぴかにすることを いっしょうけんめい がんばりたいです。



なつやすみのおもいでと にがっきに がんばりたいこと

1年 ●● ●●● さん

ぼくの なつやすみのおもいででは、滋賀県のおばあちゃんの家へ いったことです。

滋賀県では、いとこと サッカーをしたり、プールであそんだりしました。

いちばんたのしかったことは、みんなで はなびをしたことです。はじめて、ねずみはなびをして、とてもおもしろかったです。

つぎに、にがっきに がんばりたいことを はなします。にがっきにがんばりたいことは ふたつあります。

ひとつめは、はっぴょうを たくさんすることです。

ぼくは、まだはずかしくて てを あげられないことがあります。でも、にがっきは じぶんから てをあげて、しっかり はっぴょうできるように なりたいです。

ふたつめは、しずかに どくしょをすることです。

ほんをよむと、しらないことを することが
できます。これか
らは、ほんを よむ
とき、しゅうちゅ
うして、さいごま
で よめるようにが
んばりたいです。

にがっきは、こ
のふたつをがんば
ります。



2学期の目標

5年 ●● ●● さん

今日から、いよいよ2学期が始まります。
私たち5年生は、1学期に学年目標として「考
動 × UPDATE」を掲げ、学校の「サブリー
ダー」として走り出しました。

今日は、私たちが1学期に経験した「宿泊学
習」での学びと、そこから見つけた、2学期の
目標についてお話しします。

私たちは6月に、日吉自然の家で2泊3日の
宿泊学習を行いました。そこで経験したこと
は、どれも学校では味わえない特別なことば
かりでした。例えば、すり身揚げ体験では、返
事をしっかりすることの大切さを学びました。
最初は声が小さかった人も、活動を通してみな
に届く大きな声で、挨拶や返事ができるよう
になり、集団としての勢いがUPDATEされて
いくのを感じました。また、班で協力したカ
レー作りやスコアオリエンテーリングでは、仲
間の大切さを改めて実感しました。道に迷って
も声を掛け合い、誰かが失敗しても責めず
にカバーし合う。そんな「協力して乗り越え
る力」が私たちの中にあることに気付くこ
うことができました。

みんなの振り返りには、「先生や親に言わ
れる前に、自分で考えて動く「考動」ができた」
「班長としての責任感を学び、城山小を自分
たちの手でより良くしたいと思った。」とい
った感想が述べられていました。これらの言
葉は、宿泊学習という「特別な場所」だっ
たからこそ、引き出された力かもしれません。

しかし、2学期の私たちの挑戦はここから
です。宿泊学習でできた「考動」や「協力」
を、学校での「当たり前の日常」にUPDATE
していくことこそが、真のサブリーダーへ
の道だと考えました。

そこで、5年生は2学期、具体的に次の3
つの姿を目指します。

一つ目は、「時間のUPDATE」です。宿泊
学習での「5分前行動」をさらに進化させ、

「1分前着席プロジェクト」に取り組みま
す。チャイムが鳴り終わる前に、全員が席
に着き、次の学習の準備を整える。これ
を、先生に言われなくても自分たちで声
を掛け合って達成します。

二つ目は、「対話のUPDATE」です。相手
の目を見て話を聞く「体ごと傾聴」を徹
底します。友達の発表や先生の話、心と
体で受け止める。そして、最後には必ず
拍手や返事をします。そんな温かいピ
ースが飛び交う空気を作っていきます。

三つ目は、「協力のUPDATE」です。宿
泊学習で学んだ「班の協力」を、次は「
クラス」、そして「学年全体の協力」へ
と広げます。一人を孤立させず、みな
の意見を大切にしながら、一つの目標
に向かって全員で突き進む学年を目指
します。

2学期には、平和さるくや小体
会に出場する6年生を励ます会など、高
学年として学校を動かす大きな行事が
たくさんあります。昨日までの自分を
超える。そして、城山小学校の「当
たり前」をより良い形へ更新して
いく。私たち5年生は、この2学期、
自分たちで火を灯し、力強く進み
続ける「自走する学年」として、最
高の姿をUPDATEし続けてい
きます。



おめでとう！長崎県知事賞受賞

「わたぼうしコンサート in ながさき
2026」において、本校の●●●●さんが作
曲した作品『ハイタッチ！』が見事、最
高賞の一つである「長崎県知事賞」を受
賞しました！

始業式の後に、全校児童の前で、表
彰式と楽曲の披露をいたしました。

今回の受賞曲『ハイタッチ！』は、
メロディーの格好良さや、人と人との
ふれあいの喜びが生き生きと表現さ
れた素晴らしい楽曲でした。●●さん、
おめでとう！



【曲の紹介(●●●●さんより)】

「ぼくは、小さい時から歌が大好きでピアノ教室に通っています。」

曲は、ピアノ教室の先生に助けられて作りました。メロディーをカッコよくするように工夫しました。「パチン」という歌詞の所で、手のひらと手のひらが重なるしゅんかん、人間のよろこびやうれしさをこめて作りました。そこにも注目してもらえると嬉しいです。」